

第2回 のら猫不妊手術キャンペーン 報告

殺処分ゼロをめざして

交通事故や感染症で命をおとすのら猫。また、虐待の対象になってしまったり、行政によって殺処分されてしまう多くの猫たち。そうした不幸な命を少しでも減らすために立ち上がった“のら猫プロジェクト”の活動として、2018年12月に2回目となるTNRキャンペーンが実施されました。

2018年12月5日~6日 ワラビー動物病院グループとして2回目となるTNRキャンペーンを実施しました。今回は、2017年に第1回目として実施した80頭の予約枠から20頭増やし、2日間で100頭を目標に準備を進めました。予約を開始したのは約1ヶ月前。HPやfacebookなどで告知すると共に瞬く間に予約枠の100頭全てが埋まりました。キャンペーン当日は、あいにくの空模様だったこともあり数頭のキャンセルもありましたが、2日間無事故で計96頭の不妊手術を行うことができました。

	男子	女子	合計
1日目 (12/5)	22頭	26頭	48頭
2日目 (12/6)	26頭	22頭	48頭
合計	48頭	48頭	96頭

“TNRキャンペーンをご利用いただいた方からの声”

今回もキャンペーンをご利用いただきTNRにご協力いただいた方から沢山のお声をいただきました。一部、抜粋して記載させていただきます。

「今まででは考えられない価格なので、たいへん驚くとともに助かっています!!」

「執刀医の皆様、スタッフの皆様の丁寧な対応、ありがとうございました。」

「猫の不妊手術をどうしようか考えていた時に、HPを見て急いで電話をかけました。これからも、まだまだ沢山ののら猫のためにプロジェクトを続けていただければ助かりますので、大変でしょうが宜しくお願い致します。」

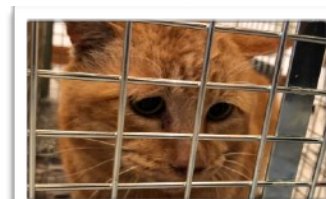
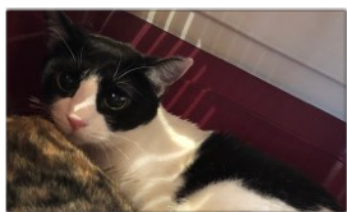
「去年同様に大変助かりました。また、来年度も宜しくお願い致します。」

「一人では頑張りがきれないことでも、沢山の人がつながると違うと思いました。」

「このようなプロジェクト（救い）があることが伝わり、救われるその人とネコがありますように。」

最後に...

今回のTNRキャンペーンは、はとがや動物病院（埼玉県川口市）の隣にあるグループ事務局を利用して行いました。麻酔モニターの移設など行い万全の体制でTNRを行いました。キャンペーンの回数を重ねるごとに、猫ちゃんにとって安心安全に手術ができるよう工夫が進んでいます。キャンペーンにご協力いただいた方からの声にもお応えするためにもTNRキャンペーンを継続して行っています。今後も、のら猫プロジェクトとして「人とどうぶつ達が幸せに暮らせる社会づくり」の為に活動していきます。ありがとうございました。



TNR不妊手術用 アクリルボード



昨年は熊本県竜之介AHからお借りしたアクリルボードを今年には自社で作成しました。日頃ののら猫ちゃんの不妊手術でも活躍していますが、今回のキャンペーンでも大活躍でした。

捕獲器用 追い込み器具



捕獲器の中にいる猫ちゃんに安全に麻酔薬を注射するための器具です。この器具により、猫ちゃんに与えるストレスをできるだけ少なくすることが出来ました

ボランティア参加獣医師



今回も当グループを卒業した獣医師がボランティアで駆けつけてくれました。TNRへの想いを共有した仲間がいるので100頭の猫ちゃんたちに不妊手術を受けてもらうことが出来ました